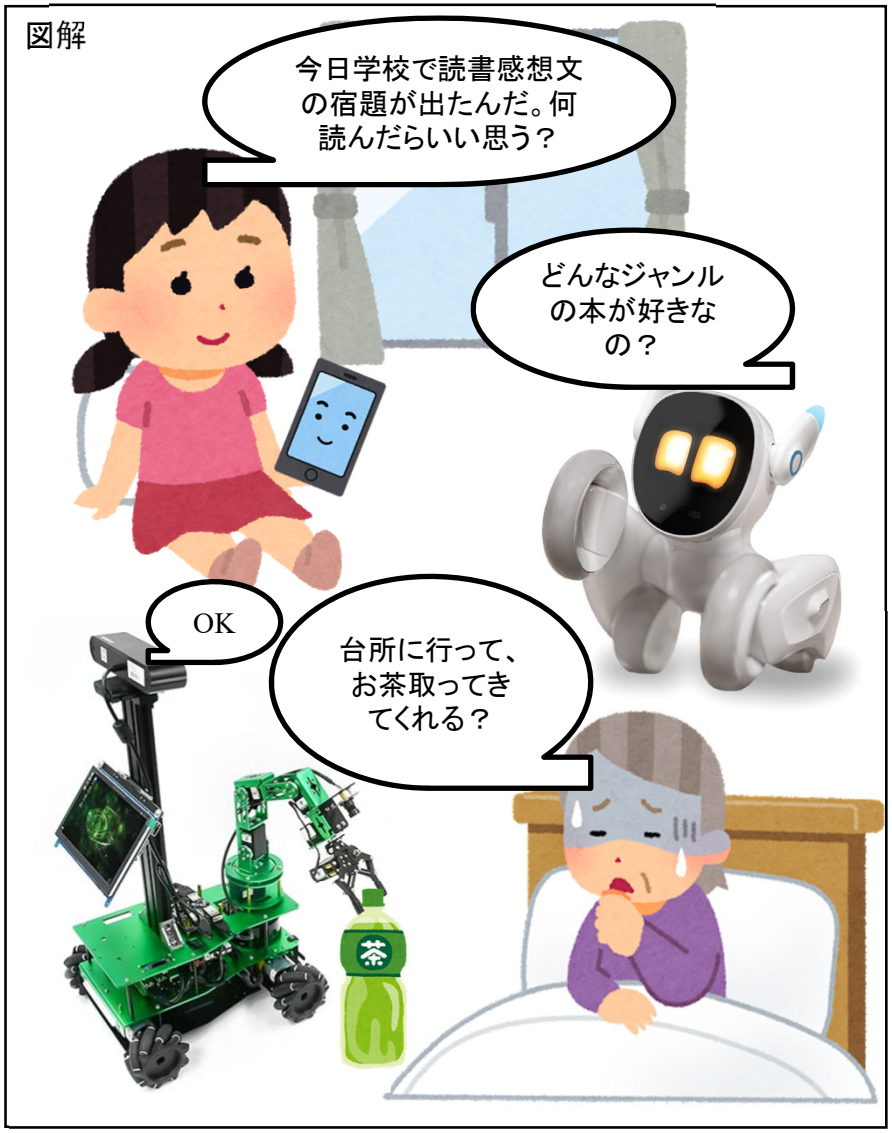
Well-BeingのためのCopilot AI Robotの開発と実証実験・加納寛子

キーワード［Well-Being，AI Robot，生成AI，Chat-GPT］　　職位　准教授

図解



内容：

生成AIを用いた寄り添いロボットと、身の回りのことをしてくれるAIロボットに分けて取り組むことにした。それぞれの特徴を下記に説明する。

①生成AIを使用した寄り添いロボット

左図解の上図のように、子どもが、宿題に悩んでいると、ペットロボットが話し相手になり、どんなジャンルの本が好きなのかなど、子どもにいろいろ質問してくれる。ChatGPTを利用したAIロボットで、アンドロイドのスマートフォンからコントールできる。

②病気でベットにいても、台所からお茶などを持ってきてくれるロボット

左図解の下図のように、高齢者がベッドで寝ていて、お茶が欲しいと思ったら、ロボットが台所へ行きお茶を持ってきてくれる。対象者を覚え追跡することもできるため、夜間徘徊する高齢者に24時間付き添いをすることもできる。

アピールポイント：

情報教育・情報社会論の知識を活かし、Copilot（副操縦士）のように、子どもや高齢者に寄り添い、会話の相手になったり、身の回りのことを手助けするツールを開発中である。

分　野：情報教育学・教育工学
専　門：AIを活用した情報社会の問題解決

E-mail：kanoh@cc.yamagata-u.ac.jp
Tel　：023- 628-4689
Fax　：023- 628-4125
HP　：https://yudb.kj.yamagata-u.ac.jp/html/102_ja.html